

第 401 回岩手県青少年環境浄化審議会議事録

- 1 日 時
平成 26 年 7 月 10 日 (木)
午後 2 時 から 午後 3 時 15 分まで
- 2 場 所
県庁 R (13) 階 P 1 - K 会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員 (5 名)
遠藤 隆 会長
内宮 眞 委員
米澤 慎悦 委員
関向 正子 委員
佐藤 文子 委員
 - (2) 県側 (2 名)
若者女性協働推進室特命参事兼青少年・男女共同参画課長 亀井 千枝子
若者女性協働推進室主査 木野下 博道
- 4 会議の概要
 - (1) 開 会
若者女性協働推進室亀井特命参事兼青少年・男女共同参画課長の挨拶に続き、木野下主査から「児童買春・児童ポルノ法改正へ」と題し情報提供あり。
 - (2) 審議会成立
事務局から、5 名の委員が出席したことにより、青少年のための環境浄化に関する条例第 23 条第 2 項の規定（委員の半数以上の出席）に基づき、審議会成立を報告。
 - (3) 議事録署名人、会長代行者の指名
議事録署名人は会長のほかに、会長が関向委員を指名。
 - (4) 議事 (要旨)
【遠藤会長】
本日の審議会は「諮問図書 of 審議」です。
【事務局】
条例第 10 条第 1 項に基づく「青少年に不健全な図書類の指定」の適否について、知事の諮問事項 (図書類 6 冊) を説明。
【遠藤会長】
それでは、審査に入ります。各委員は審査をお願いします。

— 各委員審査 —

【遠藤会長】

審査が終わったようですので、各委員から審査結果の発表をお願いします。

【関向委員】

6冊とも指定が必要だと思います。

総じて、児童ポルノ法の改正にすごく敏感に反映しているのかなと思って、前よりも凄いグロテスクな写真とかが少なくなってきたと感じ、やはり法を定めるというのは大事なんだなあと感じました。

1番は、凄い何ていうか逆説的な行為がいっぱい載っていましたが、人のスキャンダルが全部にあり、今回は6冊ともスキャンダルだらけだなあと思いました。

あとはいつもと同じようなことですが、先に感じたようなことを感じました。

【米澤委員】

全冊指定をお願いします。

今回はですね、死体損壊とか、死、実際の死体だとかそういったものがとれるものが共通しており、非常に残虐的な内容が多かったと思います。

全体的にそう思いました。

【佐藤委員】

全冊指定でお願いしたいと思います。

見てて今回は、何か覚せい剤とかコカインとかそういうものが凄く多いなあという感じがしました。全体的に。

それからあと、自殺のことを扱っているものも何冊もあり、性的感情というよりもそうじゃないものが凄く多いかなあと感じました。

【内宮委員】

6冊とも指定でお願いしたいと思います。

今、皆さんからお話があったとおり、今回は性行為を連想させるというよりは、薬物とか売春に関する違法行為、そういう手口が説明されているものが多かったかなあと、或いは盗撮の手口とか拷問とか今までとは雰囲気違った形になっているのかなあと思

ました。

【遠藤会長】

はい、どうもありがとうございます。

それでは委員のみなさま全員6冊指定ということで、私も同じ意見でありますので、6冊とも指定ということで、よろしく願いいたします。

(5) その他

次回の開催予定として、平成26年8月8日（金）を提案。

審議会委員署名

会長

委員
